

太田生涯学習報

はばたき

■発行/秋田県大仙市教育委員会 太田公民館
TEL0187-88-1119

目次

表紙・・・チャレンジデー写真 ほか
 奥羽太田ロードレース大会、学びい教室・・・2P
 スポーツ推進員表彰、大仙市スポーツ賞表彰、
 各種講座紹介、空如展、太田図書館から・・・3P
 孫と歩む民謡道・・・・・・・・・・・・・・4P
 ミニ展示コーナー、文化プラザ改修・・・・5P
 我が学び舎この一年・・・・・・・・・・・・6～7P
 チャレンジデー in大仙・・・・・・・・・・・・8P



チャレンジデー2018
太田東小へ、ささ太が応援に行きました。



花だんフェア
8月25日から9月2日に開催されました。



おはら節全国大会
9月1日に第23回民謡秋田おはら節全国大会が開催されました。



てくてくウォーク
5月3日、てくてくウォーキングが小雨の中、行われました。



山登り教室
駒ヶ岳・乳頭に登りました。天気が良くて景色が最高です。



太田のてらこ屋
東京学芸大附属高校OBの現役京大学生などの方々に教えていただきました。

第20回奥羽太田ロードレース大会 2018年10月6日(土)

今年度の奥羽太田ロードレース大会は第20回の記念大会となりました。

記念大会のゲストランナーにケニア出身で五輪メダリストのエリック・ワイナイナさんをむかえ、太田の里を144人が力走しました。台風の影響で気温が上昇し、夏のような暑さの中で、選手たちはワイナイナさんに励まされながら一生懸命走っていました。

競技終了後にはワイナイナさんのトークイベントを行い、世界の舞台上で活躍する秘訣を教えてくださいました。

太田地域関係者の入賞者は次の通りです。

●2km

小学校男子1・2・3年生の部

第5位 太田南小／3年／伊藤悠真

第6位 太田南小／3年／野中丞

小学校男子4・5・6年生の部

第5位 太田北小／5年／高橋夢樹

第6位 太田北小／4年／高橋和馬

小学校女子1・2・3年生の部

第2位 太田南小／3年／煤賀紗智

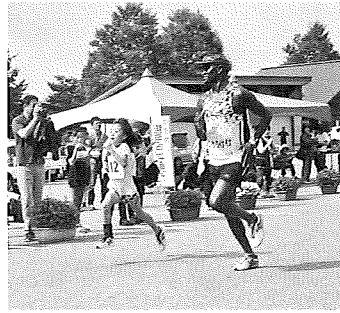
第3位 太田東小／3年／鈴木愛菜

小学校女子4・5・6年生の部

第3位 太田南小／5年／小松朋美

第4位 太田北小／6年／黒澤由愛

第6位 太田東小／4年／大信田光琉



中学生女子の部

第1位 太田中／1年／清水川藍

第2位 太田中／2年／高階楓

第3位 太田中／2年／安達楓香

第4位 太田中／3年／高貝ここあ

第6位 太田中／2年／高橋佳乃

●5km

中学生男子の部

第1位 太田中／3年／高橋歩夢

第2位 太田中／3年／佐藤大

第3位 太田中／1年／戸澤翔真

第4位 太田中／1年／三浦千隆

第5位 太田中／1年／小松優宇

第6位 太田中／2年／本多佑羽

30歳以上19歳以下男子の部

第3位 佐々木浩孝

●10km (太田地域関係者の入賞者なし)

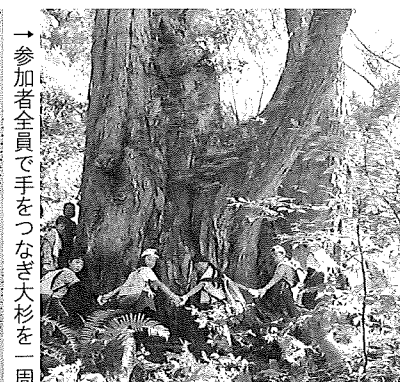
夏休み・冬休みに有志のボランティアが小学生の勉強の手助けをする「太田学びい教室」が今年度も開催されました。

学びい教室は、小学生が教わりたい問題集やテキストを持参し、地域の方々のボランティアや周辺地域の高校生に質問することで、苦手意識の克服を図ることを目的としています。

夏休みの学びい教室最終日には、「オブ山の大杉」探検登山を行いました。初めて大杉を訪れた子ども達は、大杉の圧倒的な大きさを体感していました。また、フィールドワークでの体験を絵にした田村愛花さん(南小2年)の作品が、第30回MOA美術館秋田県南地区児童作品展で絵画の部最優秀賞となる『MOA美術館奨励賞』を受賞しました。



→木の大きさが上手に表現されているね



→参加者全員で手をつなぎ大杉を一周



↑高校生から勉強を教わる小学生

学びい教室とオブ山の大杉探検

栄光をたたえて

スポーツ推進委員受賞

7月6日に宮城県登米市で行われた東北地区スポーツ推進委員大会におかれまして、長年の地域の体育・スポーツへの功労をたたえ、秋田県からは12名、大仙市からは2名が、東北地区スポーツ推進委員協議会功労者として表彰され、そのうちの一人として太田地域から長澤宏明さんが表彰されました。



また、6月9日に湯沢市で行われた秋田県スポーツ推進委員大会では安達照美さん高橋良和さんが表彰されています。

平成30年度大仙市スポーツ賞

市のスポーツの発展に尽力された方や、各種競技で優れた成績を収めた個人・団体に贈られる大仙市スポーツ賞が平成31年2月に贈られました。太田の受賞者は次のとおりです。

○小松奏音 (太田東小5年・陸上) ○煤賀愛純 (秋田北高3年・バレーボール) ○山内航太 (太田東小4年・ソフトテニス) ○高貝ひかり (秋田北高2年・ソフトテニス) ○小松由依 (太田南小4年・バドミントン) 高階蒼汰 (太田東小4年・空手) ○高橋楓佑 (太田南小6年・空手) ○高階凜花 (太田中1年・空手) 高橋颯汰 (男鹿工業高1年・空手)。また、平成30年5月には、平成29年度大仙市冬季スポーツ賞奨励賞を○高橋凜湖 (角館高1年・スキー) が受賞しています。

太田図書館

からのお知らせ



平成31年度の利用時間・休館日です。

<利用時間>

○午前9時～午後5時まで

<休館日>

○毎月 第2・4月曜日

(祝日の場合は、次の平日)

○年末年始

12月29日～1月4日

○資料整理日

10月(3日間)

○ゴールデンウィーク

4月29日～5月3日

大仙市内の図書館にはたくさんのお本や資料があり、太田図書館でも大型絵本や視聴覚資料も含めておよそ2万冊近くの資料があります。お探しの資料が太田図書館に無い場合でも、市内の他の図書館や県立図書館など他館にある場合は取寄せることができますので、職員へお気軽におたずねください。

図書館資料を利用するためには「利用カード」が必要となります。利用カードをお持ちでない方は、「利用カード申込書」(図書館にあります)にご記入いただければ、申込日から資料を借りることができます。

貸出は、図書・雑誌7冊(新刊は3冊)、視聴覚資料3点までの合計10点となります。



太田公民館からのお知らせ

空如展

生涯を法隆寺金堂壁画模写に捧げた仏画家・鈴木空如画伯の作品展が太田文化プラザで開かれます。

世界文化遺産・法隆寺の金堂壁画は昭和24年に火災によって消失してしまいましたが、鈴木空如の模写絵などを参考資料として壁画は復元し現在に至ります。

場所：太田文化プラザ

【入場無料】

公開期間：

5月24日(金)～6月9日(日)

開館時間：

午前9時～午後4時

* 予定ですので、変更する場合がありますので、ご了承ください。

生涯学習講座

今年度も太田公民館主催の生涯学習講座を開催し、たくさんの方々から参加していただきました。

・山登り教室 (通年)

・囲碁教室 (通年)

・ベジフル教室
(6、8、11月)

・やきもの講座 (9、10月)

・料理講座 (12、1月)

・押し花講座 (12、1月)

・編み物講座 (1、2月)

また、おた陶芸同好会との共催で、親子陶芸教室も開催しました。

来年度も各種生涯学習講座を企画しております。どの講座も初心者大歓迎ですので、是非参加してみてください。

孫と歩む民謡道

孫の珠衣は、小さい頃、よく鼻歌を唄っている子供でした。それで、「珠衣、アーちゃん（おばあちゃん）みたいに民謡を唄わないか？」と聞いてみたところ、「うん！唄う！」という返事が返ってきました。

私自身は、聴き覚えの民謡を唄っていたので、どうせ民謡を唄わせるなら、孫にはちゃんとした先生に基本から習わせたいと思い、当時、角館町に教えに来てくださっていた、小田島純子先生にお願いして、月2回、民謡教室へ通い続けました。

徐々に、年少部門で優勝するようになり、全国大会で東京へも行き、経費もかかり、大変でしたが、そこでも入賞・優勝をいただくと嬉しくて、私のヘソクリの出費も苦にならず、民謡の稽古をさせてきました。（今は私が時々おこづかいをもらうようになりましたが(^_^)）

現在、孫と一緒に同じ舞台上で唄えるようになることは夢にも思いませんでしたが、昨年4月「秋田港の唄全国大会」では、珠衣が一般の部で初出場・優勝し、私は高年の部で5年目でやっと優勝という夢のようなダブル優勝をいただくことができました。そして今年4月7日には、「秋田港の唄全国大会」の記録保持者としてゲスト出演の依頼をいただき、二人揃って出席させていただきます。

これからも健康に気をつけて、孫と一緒に大好きな民謡を唄っていきたいと思っております。
倉田 トキ子（太田町民謡同好会）

平成30年度、14つある秋田県内の民謡全国大会で、「秋田港の唄」「秋田おぼこ節」「秋田長持唄」「秋田鮎売り節」の4つの大会で優勝をいただくことができました。中でも1番思い出に残っているのが、私が一般の部、祖母が高年の部でそれぞれ優勝をいただくことができた「秋田港の唄全国大会」です。私は今回初めて一般の部に出場しました。いつも色々な大会に出場すると、「歌詞、間違わないかな」「どう歌えばいいかな」と不安になることが多いのですが、その日は体調が何となく優れず、逆に色々なことを考えることなく集中していました。出番までは師匠のアドバイスを思い出したり、小さい頃から聞き慣れた祖母の歌を聞いたりして落ち着くことができました。舞台では、波をイメージし大きくゆったり、伸び伸びと歌うことができたのではないかと思います。先に祖母の結果を聞いた時は、驚きと喜びでドキドキしました。それ以上に、自分の優勝という結果を聞いた時は、「まさか、本調子ではない私が。」と信じられなかったのですが、「おめでとう！！」と多くの民謡仲間や客席で涙ぐむ祖母の姿を見て、私も胸がいっぱいになりました。あの日のことは一生忘れられない、とても大切な思い出です。

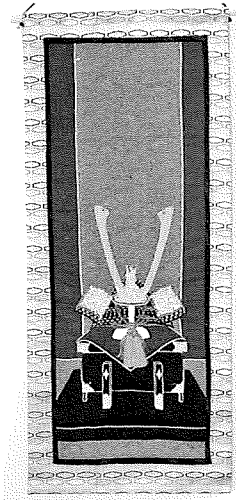
これからも秋田県内の大会で優勝したり、みなさんに「良い唄っこだな」と思ってもらえるよう頑張りたいです。
倉田 珠衣（太田町民謡同好会）



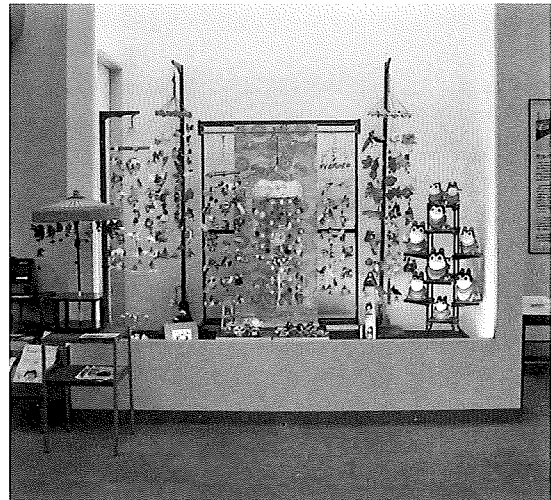
さらに 倉田トキ子さんは、伝統文化（民謡）部門で、平成30年度大仙市芸術文化賞功労賞を受賞しました。太田町民謡同好会に設立当初から携わり、多年にわたり民謡の普及・芸術文化振興に貢献した功績が認められ、今回の受賞となりました。

文化プラザ ミニ展示コーナー

文化プラザの正面玄関ホールにあるミニ展示室では、住民の方々の生涯学習作品や企画展などを展示しています。今年度は、「写真展」(八乙女カメラクラブ 3月～4月)、「タペストリー展」(個人作品 5月)、「大農太田分校 創立70周年記念※企画展」(7月～9月)、「戊辰戦争と太田 企画展」(明治「150年」事業より10月～1月)、「つるし雛展」(個人作品2月～3月)を展示しました。※太田分校70周年については、6P太田分校の記事をご覧ください。



「タペストリー展」5月



「つるし雛展」2月～3月

ミニ展示コーナー 展示品募集中!

太田公民館では、ミニ展示コーナーに展示する作品を募集しています。展示作品は自薦他薦・個人団体問いません。また、企画展のアイデアも募集していますので、太田公民館まで(電話 88-1119) お問い合わせください。



太田文化プラザ(農村環境改善センター)

改修工事に当たりまして、施設を利用することは可能です。ご利用になる皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

二弾の計画となります。

大仙市では、施設の統廃合を行い、市民の将来負担を増やさないことを目的とした施設管理計画を進めています。太田地域では計画の第一弾として、平成28年に旧太田公民館(太田生活改善センター)の一部を解体し、太田公民館事務室を太田庁舎内に移動しました。今回の改修工事は、旧太田公民館の一部解体に続く第二弾の計画となります。

太田文化プラザの改修工事をしています

市役所太田庁舎に併設された太田文化プラザ(太田農村環境改善センター)の改修工事をしています。

平成31年度(2019年度)は屋根の防水工事を行い、平成32年度(2020年度)以降に内装等を工事する予定です。

この一年

行事から

県立大曲農業高等学校 太田分校

太田分校は今年度、学校創立70周年の節目の年を迎え、例年にも増して太田地域の方々との交流が深まった年となりました。

9月1日には、太田分校体育館において、県議会議員加藤麻里様、県教育庁教育次長眞壁聡子様、大仙市副市長佐藤芳彦様、大仙市教育長吉川正一様、大仙市議会議長高橋幸晴様、大仙市議会議員金谷道男様他、多数の御来賓の皆様のご臨席の下、地域や同窓会の方々へ出席していただき、記念式典を挙行することができました。記念式典を行うに当たり、太田地域の方々からたくさんのお支え、御協力を賜り、誠にありがとうございました。当日は、式典の後、記念公演として太田町在住で同窓会副会長高橋広之様の講演や山形大学大学院音楽芸術分野の皆様による演奏会、太田分校にゆかりのある三遊亭遊里様、秋田住みます芸人の桂三河様による落語を開催しました。生徒が進行役を務め、太田分校らしい手作り感のあるアットホームな雰囲気の中、終了することができました。

また、7～1月までの間、70周年記念事業の一環として、



太田支所さん、中里温泉さんの御協力の下、「太田分校レストラン」を毎月1回開催しました。太田分校産の無農薬野菜やコメを取り入れ、生徒が考えたメニューを地域の方々に披露するこのレストランは大きな評判となり、毎回大盛況となりました。レストランでは、生徒が接客や盛りつけなども担当させていただき、実践を通して仕事の大変さと喜びを体感するとともに、生徒の自己有用感を高める貴重な経験となりました。

さらに、11月10～11日に行われた東京での農産物販売会では、ふるさと太田会の方々へ応援に駆けつけ、一緒に販売をしていただきました。生徒には大変心強く、全量完売することができました。

今後も地域の方々との交流を大事にし、新たな歴史を作るため邁進したいと思っております。



太田東小学校

10月、音楽鑑賞会「アトリエがやってきた」を実施しました。9名もの演奏者が来校し、生の演奏を聞かせてくださいました。迫力ある音楽を目の当たりにし、子どもたちの姿勢はどんどん前のめりになっていきました。途中、楽器に触れて演奏する体験の場も設けてくださり、ドキドキとわくわくが入り交じった心地よい時間を過ごすことができました。(保護者、地域の方々をお誘いすればよかったと後悔しました。)

また、昨年度に引き続き、12月の参観日の中で、保呂羽山少年自然の家所員のご指導のもと、親子体験活動を行いました。校内の中でもとりわけ寒い体育館での活動でしたが、所員の巧みな話術とゲーム感覚で気軽にできるコンテンツにより、時間を追うごとに意欲的に参加されている様子がうかがえました。成功した・失敗した、勝った・負けたの結果はありませんが、親子の絆、仲間の絆があれば、それにとらわれることはありません。アットホームな時が流れた、素敵な45分間でした。



太田中学校

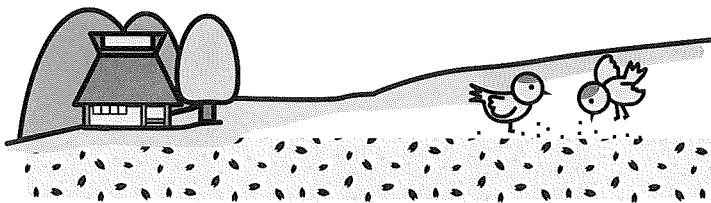
「ゴールド(金賞)」! 去る11月3日(土)。吉報が届いたのは午後6時頃でした。本校吹奏楽部が「第47回マーチングバンドパトトワーリング東北大会」において、2年連続の全国大会出場切符を獲得した連絡が入ったのでした。

2年連続での全国大会出場はもちろん快挙です。更に今回の全国大会出場が素晴らしいことは、協和中との合同バンドで成し得たことです。大仙市内で最も遠い学校同士での活動ですから合同で練習する日は多くはありません。ご存じのようにマーチングは一挙手一投足が揃っていなければなりません。これらのハンデを克服して勝ち得たのは、部員・指導者・保護者会が三位一体になったからこそだと思います。陰には言葉に尽くせぬ苦労と努力があったはずです。

一方、今回の全国大会出場に際して、太田地域の皆様や太田を故郷にしている皆様から、多大なる激励と物心両面からのご支援をいただきました。とりわけ首都圏在住の「ふるさと太田会」のメンバーが揃いの法被をまとい、埼玉スーパーアリーナまで足を運んでいただき、応援いただいたことは



感激でしたし、太田の絆と底力を感じた瞬間でもありました。やはり、太田に明るい話題をもたらすのは子どもたちの活躍です。これからも太田に元気を与えることができるよう、生徒たちと共に歩んでいきたいと思っております。



我が学び舎

～印象に残る～

太田北小学校



本校の全校音楽劇は今年で12年目を迎えました。10月の公演に向け、2月には自分たちで創作した物語のプレゼンテーションを行いました。その思いを汲み入れたオリジナルのストーリーが、わらび座の方を通して脚本になります。子どもたちは届いた脚本を読み込み、自分が演じたい役のイメージを膨らませます。7月、音楽劇の配役を決めるオーディションが行われ、3年生以上の7割に当たる子どもたちが挑戦しました。オーディションで役を射止めることができなかった子どもには別の役が与えられますが、練習を重ねる毎に、なくてはならない自分の役、自分にしかできない役に誇りをもっていきます。その証がステージで輝く子どもたちの姿です。今年度も感動的なステージになりました。

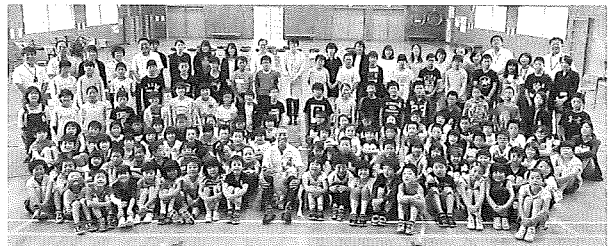
地域と保護者の協力のもと、外部の方の指導を請い、子どもたちと全職員で創り上げる全校音楽劇は、公演までの1年間が学びのサイクルとして定着しています。来年度のステージに向けた活動もスタートしています。

太田南小学校

♪吹く風のおい～♪ 子ども達が歌う「あきない歌」(秋田の魅力まるごとPR動画のテーマソング)の曲で体育館に入場してきたのは、俳優 柳葉敏郎さんである。柳葉さんの親しげな笑顔に、全校の子ども達も満面の笑みで応える。

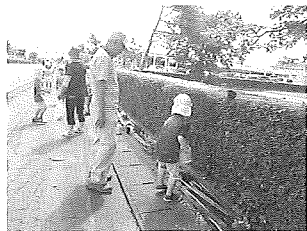
7月12日、秋田の大スター柳葉さんをお迎えし、子どもの頃の夢を聞いたり、秋田愛について語り合う全校集会をもちました。子ども達が期待感をもって柳葉さんと会うことができるように「ギバちゃん大捜査線」と題し、事前に情報を集める活動を行いました。

集会では、張り切って柳葉さんに質問する子ども達、それに答える柳葉さん、ご自身が夢をかなえるまでの話やふるさと秋田への思いなどを熱く語っていただきました。「好きなことを続けていけば苦しいとは思わない、失敗を恐れず挑戦しよう、家族の大切さ、ふるさとへの思い・・・など」子ども達へたくさんのメッセージをいただき、メモリアルな一日となりました。



おおたわんぱくランド“のびのび園”

のびのび園では、7月の保育参観時にお家の方と一緒に花植えの活動をしています。年少組と年中組はプランターにペゴニア・サルビア・メランポジウムを、年長組は園舎北側の垣根のところにペゴニアを植えます。植え付け後は気候に合わせて保育者と子どもで水やりなどをして、花がきれいに咲くようにと世話をしています。



この活動は、おおたわんぱくランドになる以前のみなみ幼稚園・ひがし幼稚園のときから行っていて、平成13年頃から始まりました。『花に親しみながら家族との触れ合いの一つに』『道行く人に見てもらい、花を通じて地域と関わることにつながるように』との思いが込められ、今に続いています。

これから小学校中学校と続く【花の里 太田】の活動の根っことして子どもたちの心に残すことができれば、そしておおたわんぱくランドの楽しい思い出と一緒に、きれいな花が咲いていたことをいつかふと思い出してくれたらと願っています。今後も続けていきたいと思ひます。



おおたわんぱくランド“すくすく園”

12月21日『クリスマス保育参観』が行われました。昨年は全園児がクラスごとに手遊びや踊りなどをステージで発表しましたが、今年は子どもの姿や各年齢の育ちを踏まえて発表会という形をとらず、参観の中で一人一人の様子を見てもらうことにしました。

0歳児いちご組と1歳児りんご組・みかん組は、各保育室やミニミニルームなどでお家の人と触れ合い、ふだん楽しんでいる手遊びや踊りをその子どもなりに表現して“お家の人と一緒に”という安心感の中で楽しく過ごす姿が見られました。踊りが大好きで元気いっぱい2歳児も組・めろん組はステージで「どらえもん」や「HoneyB～みつばち」などを踊りました。お家の人が見ていることで側に行きたくなった子どももやじっとしている子どももいましたが、お家の人はその姿を丸ごと受け止めてくれている様子に安心しました。みんなと同じにできなくても、ありのままの姿を認めてもらうことで自分を大切に思える子どもに育っていきます。



その後全園児と保護者がプレールームに集まり、お楽しみタイムが始まりました。職員による劇「大きなかぶ」ではサンタさんやトナカイさんも登場し、「うんとこしょどっこいしょ」の掛け声でやっとな大きなかぶが抜け、子どもたちは大喜びでした。翌週「大きなかぶ」を真似っこして遊ぶ姿が見られ、“あそびで育ち 遊びで学んでいる”を感じました。これからの成長が、ますます楽しみな子どもたちです。





チャレンジデー in 大仙

どんな運動でも構いません。太田のパワーを全国に見せましょう。自宅でも、職場でも、田んぼでも、自分の好きな場所で参加しましょう

5月29日(水曜日)

今年度の対戦相手は
兵庫県豊岡市!

まちとまちとがスポーツ(運動)を実施した住民の参加率を競う「チャレンジデー」。

「スポーツの力で日本を元気に！」をスローガンに体を動かしてみんなで参加し、地域を元気にしましょう。



年度	参加者数	割合	対戦相手	備考
H22 (初参加)	4,370人	60.4%	vs 大分県 豊後大野市緒方町	61.6% 初参加の団体の中で全国3位
H23	3,719人	52.0%	vs 福岡県 みやこ町勝山	63.6%
H24	4,044人	57.7%	vs 岩手県 一関市藤沢町	73.6%
H25	3,766人 (36,050人)	54.4% (40.6%)	vs 長崎県 大村市	67.9% 大山市で初参加()は大山市の数字
H26	4,073人 (41,279人)	59.7% (47.1%)	vs 愛知県 碧南市	69.5%
H27	3,533人 (44,767人)	52.9% (51.7%)	vs 神奈川県 碧南市	30.9% 初勝利
H28	3,400人 (47,527人)	51.7% (55.7%)	vs 東京都 小金井市	82.6%
H29	4,136人 (70,541人)	64.2% (84.0%)	vs 山梨県甲斐市 & 鹿児島県霧島市	86.8% 90.0%
H30	3,931人 (76,648人)	62.5% (92.4%)	vs 香川県 丸亀市	93.9%
H31	5月29日 水曜日 午前0時～午後9時			VS 兵庫県豊岡市



編集後記

春の訪れとともに、新たな時代の幕開けを迎える2019年。5月には年号が変わり、「平成」の時代もあと僅かとなりました。新しい時代が子供たちにとって夢と希望をもち羽ばたける明るい将来であることを願っています。さて、公民館にお世話になり、あつという間に一年が過ぎようとしています。太田地域は、生涯学習・生涯スポーツ活動が盛んであり、この一年間たくさんの方からご支援をいただきました。いろいろな活動や事業を無事に楽しく実施することが出来ました。お礼申し上げます。

太田地域には、スポーツパークとして太田球場、太田テニスコート、太田体育館、多目的運動広場(ゲートボール場)、クラブハウスなどが一体的に整備され、またナイターを備えた大台スキー場や全国屈指の規模を誇る奥羽太田グラウンド・ゴルフ場など生涯スポーツ関連施設が充実しており、あらゆる年代の方々に利用されています。このような恵まれた環境は他にはなく、地域の貴重な財産ともいえるものです。公民館では、おたスポーツクラブや関係団体と連携しながら、誰もが気軽にスポーツを楽しめる機会を充実させ、スポーツを通して元気で健康な体力の維持増進に努めてまいります。

また、公民館は地域住民にとって最も身近な学習活動の拠点であり交流の場として、今後も地域が賑わい元気になるよう、地域の皆さまと一緒に活動していきますので、ご指導のほどよろしくお願ひします。
終わりになりますが、『はばたき第22号』の発行にあたり記事、資料等の情報をいただいた皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございます。

太田公民館長

黒澤伸朗

31年の文化講演会のお知らせ

H31
4/14
(日)

文化講演会

演題:「協働で進める花のまちづくり」
講師:十文字環境美化を考える会 代表 佐々木仁

時間=午後2時30分~/場所=太田生活改善センター (旧太田公民館)